

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013
箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp

◆ 目次 ◆

- 西宮市での講演会
- 東日本大震災の被災地とつながる8
- 世界寺子屋運動箕面ユネスコ版6
- ONPO フェスタ・お知らせ



♪ ホームページ開設しました！

「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

『ユネスコスクールと ESD～あなたの毎日が未来になる～』

箕面ユネスコ協会として研修会講師を務めさせていただきました～☆彡

西宮市教育委員会と西宮ユネスコ協会（8月）、舞鶴市教育委員会と舞鶴ユネスコ協会（9月）が、それぞれに主催する人権研修会で、箕面ユネスコ協会として講師を務めさせていただきました。

今、各地では、新たな取り組みを模索しているユネスコ協会が多くあります。とりわけ、ESDを学校教育と協働で担い、子どもたちの未来を切り拓く力の育成を応援したいという願いが高まっています。

しかし、学校現場の日々の教育活動とユネスコの活動をつなぐことはなかなか難しく、願いを形にしづらい現実があります。そんな中で、箕面ユネスコ協会が先生方とともに行った数々の活動は、新しいユネスコ活動のあり方として注目をいただいているところです。

今回の研修会では、参加した各地のユネスコのみなさんや教職員のみなさんに、世界の潮流であるESDについてお伝えするとともに、箕面ユネスコ協会が各学校で支援した教育内容を紹介させていただきました。会の後半では、地域のユネスコメンバーのみなさんと先生方が膝を交えて活発に話し合っておられる姿がありました。参考になる意見も多かったです。わたしたちにとっても意義深い研修会になりました。これからも、子どもたちが、さまざまな課題と出会い、自分の力を生かして行動し、「役に立った！」とエンパワーできるような教育活動に関わっていきたいと願っています。（大浜 淳子）



ESDとは…

持続可能な開発のための教育

Education for Sustainable Development

環境、人権、平和、国際理解、防災等、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、それによって持続可能な社会を創造していくことをめざす学習や活動です。

国連が2002年より推進し、我が国でも教育の重要な理念として位置づけられ、新しい学習指導要領に盛り込まれています。



箕面ユネスコ協会の活動経過報告 N08

～東日本大震災の被災地とつながる！高校生・大学生による東北ボランティア支援～

2015年度も大阪府立北摂つばさ高校7校連合「がんばれ！つばさネットワーク」の宮城県気仙沼市を中心とするボランティア活動をはじめとして、公益社団法人ユネスコ協会連盟主催ボランティア交流ツアー、ライオンズクラブ大阪志学台レオクラブ派遣プロジェクトのコディネーターを務めました。

■ 東日本大震災を心と記憶にとどめるユネスコ・ボランティア交流ツアー

8月20日(木)～8月23日(日) 車中1泊現地2泊4日 震災の記憶の風化させない、被災地との更なる交流を深めるため、昨年に引き続き、日本の将来と明日のユネスコ活動を担う高校生・大学生を対象に本ツアーを企画しました



■ 2015年東北復興支援レオ派遣プロジェクト

9月4日(木)～9月7日(日)参加者レオ20名 引率ライオン2名 箕面ユネスコ3名が参加。ライオンズクラブはレオクラブの若い力が東北で役立つ、東北の皆様方と一緒に汗を流し、見て、聞いて、感じる中で「3・11を忘れない」を共に共有して行けるような活動をめざし現地に送られました。(坂口 一美)



世界寺子屋運動 箕面ユネスコ版 ー6ー

～フィリピン・98人の子どもたち ゆめ・夢・ゆめ～

目の当たりに出来る 身近な仕事に憧れていました

8月1日、関空からマニラに飛び、2日にサンアントニオに着いた。次の日から前回訪問で顔馴染みになった子どもたちと片言のタガログ語でゴルフ遊びを始めたり、ホームステイ先の子供たちとは紙飛行機を飛ばしたり、気心が



一層通



が通じた頃、今回の目的である現地の子供たちの「将来の夢」を知るためのアンケートを始めた。ステイ先のバンさんに手伝ってもらってアンケート用紙をタガログ語で作成した。年齢・男女・将来の夢のだけの簡単な内容だ。

まず、ステイ先の4人の子たちからはじめ、近所の子供たち、前回訪問した電気がないマガラワ島の30人へと広げていった。数が欲しかったので、これまで何度か訪問したサンアントニオ市のサングレゴリオ小学校の下校途中の子供たちをつかまえて記入してもらった。その子たち

にお礼として数本の鉛筆を渡し、トータル98枚を集めることが出来た。

回答では、男の子は警察・軍隊が圧倒的に多く、なかにはNASAと答えた子もいた。女の子は先生・ナースが飛びぬけて多く、弁護士と書いた子もいた。

アンケートを集めていたある日、おばあさんが用紙を持って帰り、何処かで誰かに記入してもらったであろう用紙を示し、抱いているこの赤ちゃんの夢だから、「鉛筆を」と真剣に頼み込む顔は、現地の状況を物語り、忘れられない出来事だった。

予想通り、子どもたちの周りで見ることのできる職業が圧倒的に多かったが、片方でこの子たちの夢を応援することが出来ない私自身は複雑な感情でいる。

それでも自分を励まし、都会・町・田舎・島・山岳の少数民族やゴミの山で働く子どもたちが、どんな将来の夢を描いているのかを知りたい気持ちが強く、来年も探りに行きたいと思っている。(中嶋 嘉伸)



☆☆☆☆☆ .:~:~:~☆.~:~:~☆

「書き損じプロジェクト」

へのご協力お願い!

ユネスコ世界寺子屋運動は、ダンス遺産を募金にかえ、学びの場を世界に広げていく運動を行っています。書き損じハガキ11枚で1か月間、子ども1人が学校へ通えます。ご協力いただけます、個人、団体の方は箕面ユネスコ協会へご連絡ください。

東日本大震災復興支援イベント ～3.11を忘れないチャリティー物産展～

みのお NPO フェスタ 2015 !



9月20日(日)箕面市民活動センターで、みのおNPOフェスタ2015が開催されました。今年も箕面ユネスコ協会は、東日本大震災「被災地を忘れない」チャリティー物産展を行いました。

オープニングイベントの太鼓サークル『蛭』による軽快な和太鼓の演奏で、会場が一気に活気づくとたくさんの方が集まって来ました。わたしたちも物産展の回を重ねる毎に、来てくださるお客様とおしゃべりが出来るほどの余裕が持てるようになりました。前回食べて美味しかったからと、また買ってくださいる人もいました。気仙沼から届いた商品をわたしたちが手渡しでお客様にお渡しする、まさに「食でつながる復興支援」です。用意していた品物の数々もおかげさまで、フェスタ終了一時間前には完売してしまいました。



タッキー816 みのおエフエムやまーぶ(箕面市で流通している地域通貨)ハローワークでお仕事体験中の子どもたちから取材を受け、箕面ユネスコ協会の日々の活動についてもお伝えすることができました。

(前田 ひとみ)



箕面ユネスコ協会からのお知らせ!

箕面ユネスコ協会主催

★気仙沼の食とお酒を楽しむ会★

今回で3回目となる好評の『食を楽しむ会』を行います。ぜひご予約ください。

★2016年2月6日(土)午後6時から

★らいとぴあ21 2F和室

★会員の納入について★

会員の皆様へ会費の納入のお願い
(8月現在、会費未納の皆様へ)

※年会費一般会員、年3,000円。学生会員、1,000円

※振込み先：箕面ユネスコ協会

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：408 預金種目：普通

店名：四〇八(ヨンゼロハチ)